

標準案内用図記号ガイドライン 改訂版

2017年7月

公共施設等の案内用図記号検討委員会
事務局：（公財）交通エコロジー・モビリティ財団

1. 策定の背景、目的

不特定多数の人が出入りする交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等に使用される案内用図記号は、一見してその表現内容を理解できることから、文字表示に比べて優れた情報提供手段です。2002年日韓ワールドカップ開催を控えた1999年頃は国内的にも国際的にも標準化が遅れていた状況で、国内的には日本工業標準 (JIS) 化がなされておらず施設ごとにバラバラに使用されていました。また、国際的にも国際標準化機構 (ISO) によってわずか57項目が標準化されているに過ぎませんでした。

一方で、社会の変化により利用者のニーズが多様化し、またバリアフリーの観点からこうした図記号の一層の充実、統一化の必要性が高まっていたため、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される案内用図記号の標準となるものを示すことを目的として、2001年3月「標準案内用図記号ガイドライン」が策定されました。

その後、国内的にはJISZ8210の制定、国際的にはISOでの登録数も増えている状況の中、国内的には少子高齢化により一層進むと共に、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、今後益々訪日外国人観光客数の増加が見込まれる状況を受け、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される案内用図記号の標準となるものを示すことを目的として「標準案内用図記号ガイドライン改訂版 (本ガイドライン)」を作成しました。

2. 策定の経緯

本ガイドラインは、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団が設置した「公共施設等の案内用図記号検討委員会 (以下「検討委員会」という。)」における検討を経て策定されました。

検討委員会は、[表-1]に示すとおり、国土交通省、経済産業省、東京都等行政機関、交通事業者、学識経験者、デザイナー等の参加を得て、2015年4月に設置され、標準案内用図記号の見直し及び追加に向けて約2年間検討を行いました。はじめの1年間は、案内用図記号の国内事例の収集、及び障害者当事者団体や外国人観光客への調査を踏まえ、図材の選定等の作業を行い、続いて図案作成及び見直し作業を進め、ISO及びJISの調査方法に準拠した理解度及び視認性試験により原案の適性度を評価し、2016年3月に10項目の原案を策定しました。2年目には1年目に選定した図材の内、残りの図材について図案作成及び見直し作業を進め、1年目と同様に理解度及び視認性試験を実施し、2017年3月に5項目の原案を策定し、2年間で18項目の案内用図記号を策定し、カテゴリーを追加するに至りました。さらに、本ガイドライン改訂版を策定するにあたり、カテゴリー分類の整理に伴う案内用図記号のカテゴリーの移動、JISZ8210案内用図記号から案内用図記号の追加、見直しを行いました。[表-2、表-3参照]

〔2015年度は、「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号 (ピクトグラム) 作成検討委員会」として立ち上がり、2016年度は、「公共施設等の案内用図記号検討委員会」に委員会名が変更となったが、委員構成等に変更はない。〕

3. 図記号の造形者

本ガイドラインの図記号は、検討委員会及びワーキンググループの図材選定と監修のもとに[公益社団法人日本サインデザイン協会 (SDA) + 中川憲造 / NDCグラフィックス]が造形しました。ただし、既存のもの等をそのまま表示している※印のある図記号は除きます。

4. 本図記号のご利用にあたって

本ガイドライン改訂版に掲載されている図記号は、誰でも自由に使用することができます。また、これら図記号のデータは、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団のホームページ (<http://www.ecomo.or.jp/>) に掲載されていますのでご利用ください。ただし、これらの図記号を商標又は意匠として登録等を行うと、第三者の権利を侵害する可能性があります。ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団バリアフリー推進部
E-mail: bari_info@ecomomo.or.jp Tel. 03-3221-6673 Fax. 03-3221-6674

[表－１] 公共施設等の案内用図記号検討委員会の構成

(2017年3月現在、委員五十音順、敬称略)

■委員会

○委員長	
秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
○委員	
赤瀬 達三	株式会社黎デザイン総合計画研究所 代表取締役
阿久井 薫	東京地下鉄株式会社営業部施設課 サインシステム担当課長
井川 武史	東京都都市整備局都市基盤部 交通プロジェクト担当課長
伊藤 喜彦	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部設備部 次長
江口 靖二	一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事
加藤 久明	日本デザイン学会 名誉会員
児山 啓一	ISO/TC145/SC1国内対策委員会 主査 株式会社アイ・デザイン 代表取締役
定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 会長 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役社長
神野 美和	東京都オリンピック・パラリンピック準備局総合調整部 事業推進担当課長
高柴 和積	一般社団法人全国空港ビル協会 常務理事
高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
谷口 善秀	日本政府観光局(JNTO)インバウンド戦略部 次長
田村 弘明	東京都産業労働局観光部受入環境課 事業調整担当課長
辻村 由佳	一般財団法人国際観光サービスセンター 成田国際空港ツーリスト インフォメーションセンター所長
津田 吉信	一般社団法人日本旅客船協会 企画部長
永田 邦博	経済産業省産業技術環境局国際標準課 課長補佐
中野 豊	一般社団法人日本標識工業会 会長 ISO/TC145/SC2国内対策委員会 主査
中村 祐二	ISO/TC145国内対策委員会 委員長 ISO/TC145/SC3国内対策委員会 主査 学校法人自由学園LAリーダー 非常勤講師
平沢 善幸	国土交通省総合政策局安心生活政策課 交通バリアフリー政策室長
福嶋 教郷	国土交通省観光庁外客受入担当参事官付 課長補佐
船戸 裕司	公益社団法人日本バス協会 常務理事
室谷 正裕	一般社団法人日本民営鉄道協会 常務理事
森川 美和	公益財団法人共用品推進機構 総務部総務課 課長
山崎 朋子	一般財団法人日本規格協会国際標準化ユニット 国際規格開発普及グループ 国際規格開発普及チーム 国際規格開発普及課長

■ワーキング

○主査	
児山 啓一	ISO/TC145/SC1国内対策委員会 主査 株式会社アイ・デザイン 代表取締役
○委員	
秋山 哲男	中央大学研究開発機構 教授
赤瀬 達三	株式会社黎デザイン総合計画研究所 代表取締役
江口 靖二	一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアム 常務理事
定村 俊満	公益社団法人日本サインデザイン協会 会長 株式会社ソーシャルデザインネットワークス 代表取締役社長
高橋 儀平	東洋大学ライフデザイン学部 教授
永田 邦博	経済産業省産業技術環境局国際標準課 課長補佐
中野 豊	一般社団法人日本標識工業会 会長 ISO/TC145/SC2国内対策委員会 主査
中村 祐二	ISO/TC145国内対策委員会 委員長 ISO/TC145/SC3国内対策委員会 主査 学校法人自由学園LAリーダー 非常勤講師
山崎 朋子	一般財団法人日本規格協会国際標準化ユニット 国際規格開発普及グループ 国際規格開発普及チーム 国際規格開発普及課長

■オブザーバー

遠藤 純二郎	公益財団法人東京オリンピック・パラリン ピック競技大会組織委員会 マーケティング局管理部ブランド管理課 ブランドディレクター
荒木 祐二	公益財団法人東京オリンピック・パラリン ピック競技大会組織委員会 大会準備運営局大会準備運営第二局 会場マネジメント部サイネージ・イベントサービス課
岸本 紀子	国土交通省国土地理院基本図情報部 国土基盤情報調整官

■事務局

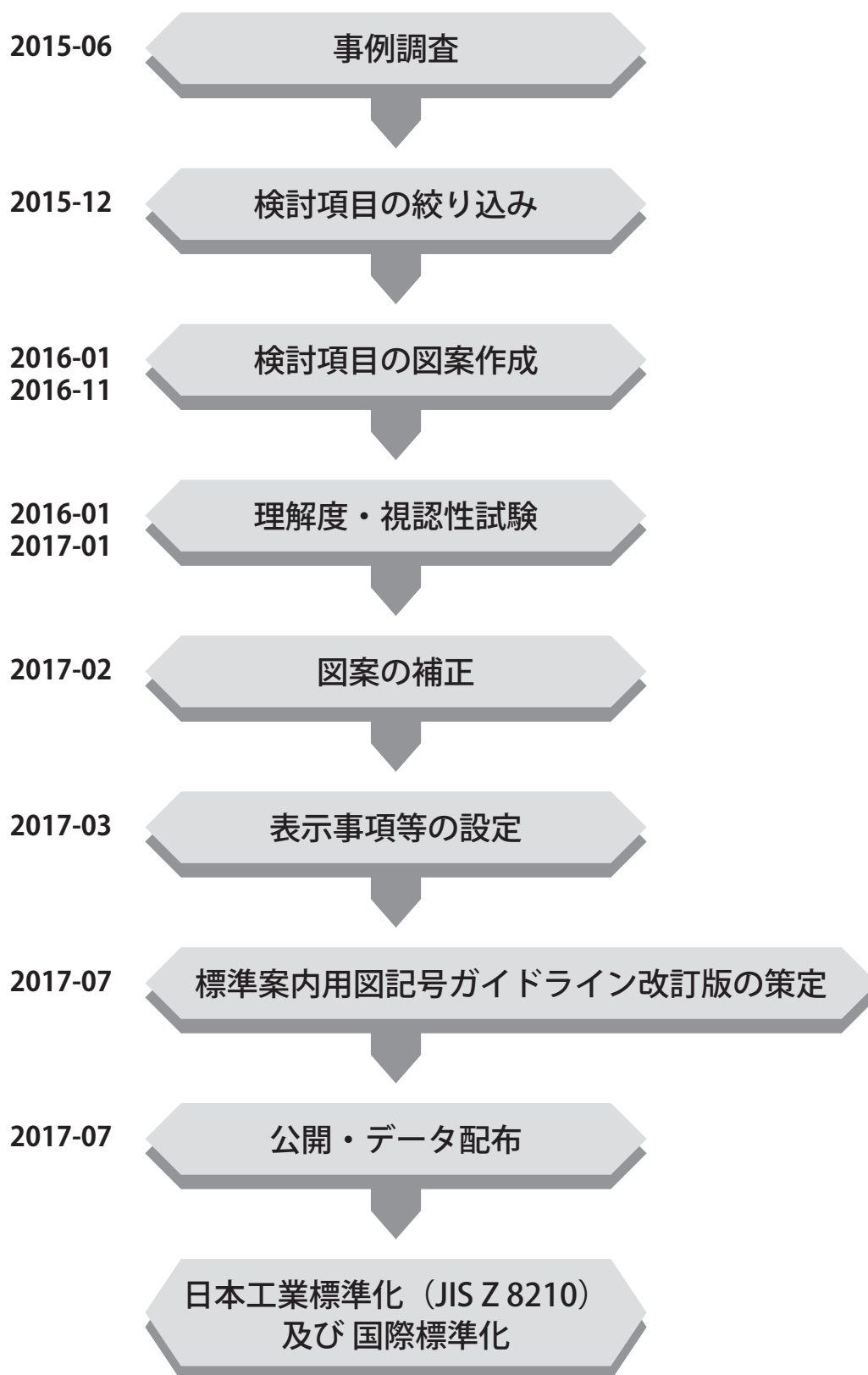
坂下 晃	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 理事兼バリアフリー推進部長
竹島 恵子	(公財)交通エコロジー・モビリティ財団 バリアフリー推進部企画調査課 担当課長
堀口 仁美	株式会社アイ・デザイン 取締役 エグゼクティブデザイナー

(※2016年度における委員会名は、「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた案内用図記号(ピクトグラム)検討作成委員会/ワーキング」)

■前委員

阿部 亮	東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部設備部 次長
板倉 広泰	東京都産業労働局観光部 事業調整担当課長
江本 秀司	一般財団法人日本規格協会規格 開発ユニット規格開発グループ 産業基盤規格チーム 専門職
高妻 博之	国土交通省観光庁 外客受入担当参事官付
下出 亮克	東京都オリンピック・パラリンピック準備 局総合調整部 事業推進担当課長
下田 利幸	東京都都市整備局都市基盤部 物流調査担当課長

〔表－２〕 本ガイドライン策定のプロセス



[表－ 3] 改訂内容：新規追加

1 公共・一般施設 Public Facilities				
 充電コーナー Charge point	 自動販売機 Vending machine	 海外発行カード対応ATM ATM for overseas cards	 無線LAN Wireless LAN	 礼拝室 Prayer room
2 交通施設 Transport Facilities			3 商業施設 Commercial Facilities	4 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities
 駅事務室 / 駅係員 Station office / Station staff	 一般車 Car	 レンタサイクル / シェアサイクル Rental bicycle / Bicycle sharing	 コンビニエンスストア Convenience store	 イヤホンガイド Audio guide
5 安全 Safety	6 禁止 Prohibition		7 注意 Warning	8 指示 Mandatory
 列車の非常停止ボタン Emergency train stop button	 ホームドア：たてかけない Do not lean objects on the platform door	 ホームドア：乗り出さない Do not lean over the platform door	 ホームドア：手を挟まないよう注意 Caution, closing doors	 シートベルトを締める Fasten seatbelt
9 アクセシブル (新分類) Accessible				
 オストメイト用設備 / オストメイト Facilities for Ostomy / Ostomate	 コミュニケーション Communication in the specified language	 コミュニケーション：筆談対応 Communication : Writing		

[表－ 3] 改訂内容：見直し

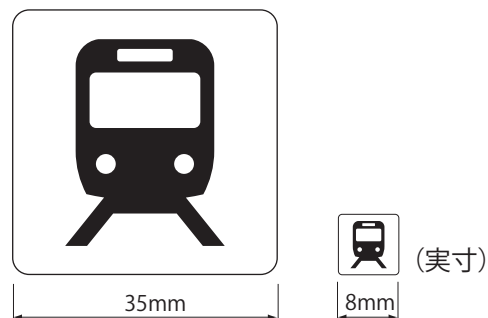
1 公共・一般施設 Public Facilities  情報コーナー Information → 表示事項見直し 案内 Information	2 交通施設 Transport Facilities  船舶 / フェリー / 港 Ship / Ferry / Port → 図形見直し 	6 禁止 Prohibition  ベビーカー使用禁止 Do Not Use Prams → 図形 / 表示事項見直し  ベビーカー使用禁止 Do Not Use Prams / Strollers
1 公共・一般施設 Public Facilities → 9 アクセシブル Accessible 以下の2項目の分類見直し		
 身障者用設備 Accessible facility → 表示事項見直し 障害のある人が使える設備 Accessible facility	 車椅子スロープ Accessible slope → 表示事項見直し スロープ Slope	

■ 使用上の注意

- 1) 本ガイドラインでは、図記号の使用について次の推奨度区分を定めています。使用にあたっては、これを遵守してください。
 - ・推奨度A：安全性及び緊急性に関わるもの、多数のユーザーにとって重要なもの及び移動制約者へのサービスに関わるものです。
これらについては、図形を変更しないで用いることを強く要請します。
 - ・推奨度B：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念及び図形を統一することによって利便性が高まると期待されるものです。
これらについては、図形を変更しないで用いることを推奨します。
 - ・推奨度C：多数の利用者が通常の行動や操作をする上で、図記号の概念を統一することが必要なものです。
これらについては、基本的な概念を変えない範囲で適宜図形を変更して用いることができます。
- 2) [注1]の表記がある図記号は、文字による補助表示が必要です。図記号単独での使用は避けてください。
その際の文字表示は、各図記号に併記してある表示事項を参考にしてください。
- 3) [注2]の表記がある図記号は、図記号中の通貨記号を必要に応じて他の通貨記号に変更することができます。
- 4) 本ガイドラインの図記号は、視距離1mで表示する場合の最小寸法を35mm角、手にとって見ることのできる地図類に用いる場合の最小寸法を8mm角とする条件で設計されています。これより小さくして使用することは避けてください。（図1）
- 5) 本ガイドラインの図記号は、正方形・円形・三角形が同じ大きさに見えるように、寸法を調整してあります。これら三種の外形を持つ図記号を混用して拡大・縮小する際は、この点にご留意ください。（図2）
- 6) 赤、青、黄、緑が使用されている図記号の色彩は、[JIS Z 9103 安全色及び安全標識（2017年度改正）]に依っています。使用の際は、次の値を参照してください。（図3）
※このガイドラインは、レギュラーインクを使用しているため近似色である。

	色名	マンセル値
安全色	赤	8.75R 5/12
	青	2.5PB 4.5/10
	黄	7.5Y 8/12
	緑	5G 5.5/10
対比色	白	N9.3
	黒	N1.5

(図1)



(図2)



(図3)

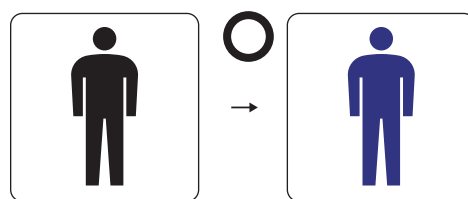


- 7) 白地に黒色で表現されている図記号は、前記の赤、青、黄、緑の安全色を除く、他の色彩に変更することができます。(図4)

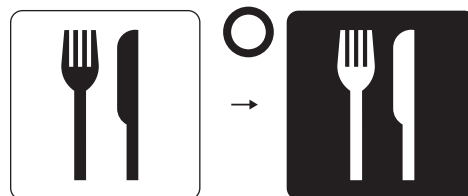
また、図と地の関係を反転することができます。

(図5)

(図4)

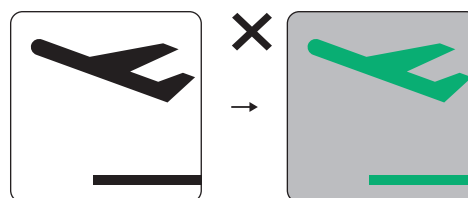


(図5)



- 8) 色彩あるいは明度を調整して使用する場合は、見やすさに配慮し、図と地色とのコントラストが十分明確になるようにしてください。明度差は少なくとも5以上になるようにしてください。(図6)

(図6)



- 9) 図記号によっては、誘導方向や設置環境に応じて左右を反転することができます。(図7)にその例を示します。

(図7)



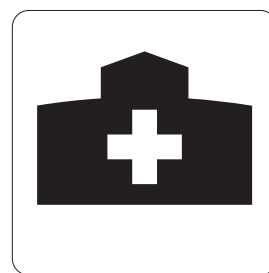
推奨度
A



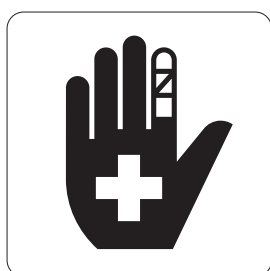
案内所
Question & answer



案内
Information



病院
Hospital



救護所
First aid



警察
Police



お手洗
Toilets



男子
Men



女子
Women

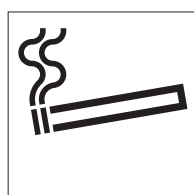


飲料水
Drinking water



喫煙所
Smoking area

(備考)
火災予防条例で下記の図記号の使用が規定されている場所には、下記の図記号を使用する必要がある。



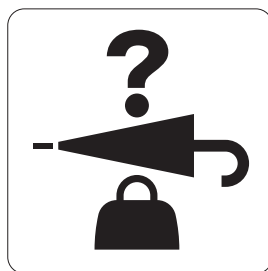
※

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



チェックイン / 受付
Check-in / Reception



忘れ物取扱所
Lost and found



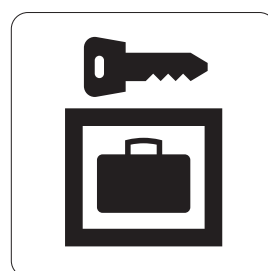
ホテル / 宿泊施設
Hotel / Accommodation



きっぷうりば / 精算所
Tickets / Fare adjustment



手荷物一時預かり所
Baggage storage



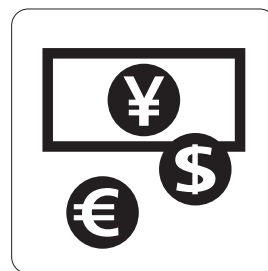
コインロッカー
Coin lockers



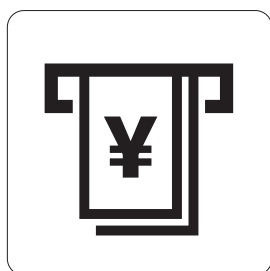
休憩所 / 待合室
Lounge / Waiting room



ミーティングポイント
Meeting point



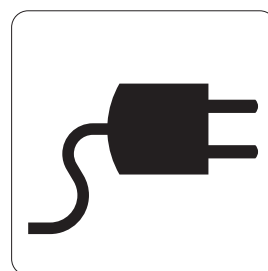
銀行・両替
Bank, money exchange
[注2] (通貨記号差し替え可)



キャッシュサービス
Cash service
[注2] (通貨記号差し替え可)



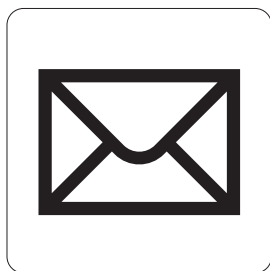
海外発行カード対応ATM
ATM for overseas cards
[注2] (通貨記号差し替え可)



充電コーナー
Charge point

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



郵便
Post



電話
Telephone



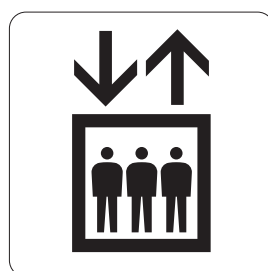
無線LAN
Wireless LAN



ファックス
Fax



カート
Cart



エレベーター
Elevator



エスカレーター
Escalator



階段
Stairs



乳幼児用設備
Nursery



クローク
Cloakroom



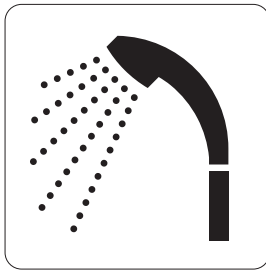
更衣室
Dressing room



更衣室（女子）
Dressing room (women)

1 公共・一般施設 Public Facilities

推奨度
B



シャワー
Shower



浴室
Bath



水飲み場
Water fountain



礼拝室
Prayer room



くず入れ
Trash box



リサイクル品回収施設
Collection facility for
the recycling products

推奨度
C



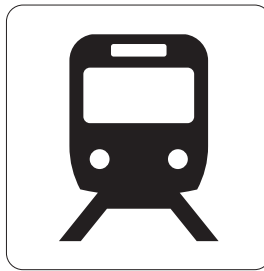
自動販売機
Vending machine

【注2】 (通貨記号差し替え可)

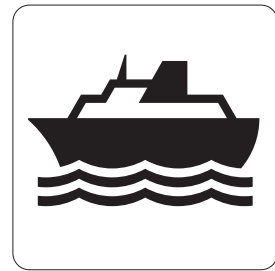
推奨度
B



航空機 / 空港
Aircraft / Airport



鉄道 / 鉄道駅
Railway / Railway station



船舶 / フェリー / 港
Ship / Ferry / Port



ヘリコプター / ヘリポート
Helicopter / Heliport



バス / バスのりば
Bus / Bus stop



タクシー / タクシーのりば
Taxi / Taxi stop



レンタカー
Rent a car



一般車
Car



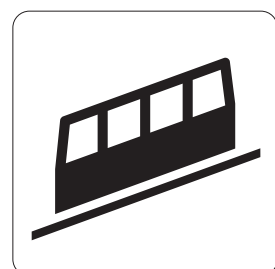
自転車
Bicycle



レンタサイクル / シェアサイクル
Rental bicycle / Bicycle sharing



ロープウェイ
Cable car



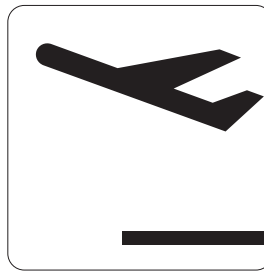
ケーブル鉄道
Cable railway

2 交通施設 Transport Facilities

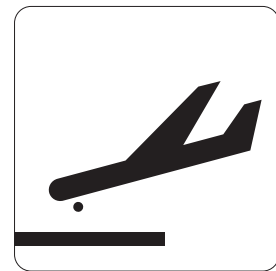
推奨度
B



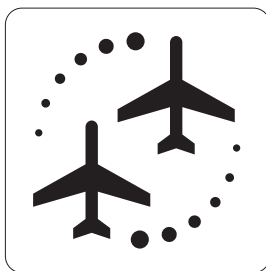
駐車場
Parking



出発
Departures



到着
Arrivals



乗り継ぎ
Connecting flights



手荷物受取所
Baggage claim



税関 / 荷物検査
Customs / Baggage check



出国手続 / 入国手続 / 検疫 / 書類審査
Immigration / Quarantine / Inspection



駅事務室 / 駅係員
Station office / Station staff

推奨度
B



レストラン
Restaurant



喫茶・軽食
Coffee shop



バー
Bar



ガソリンスタンド
Gasoline station



会計
Cashier
[注2] (通貨記号差し替え可)

推奨度
C



店舗 / 売店
Shop



新聞・雑誌
Newspapers, magazines



薬局
Pharmacy



理容 / 美容
Barber / Beauty salon



手荷物託配
Baggage delivery service



コンビニエンスストア
Convenience store

推奨度
B



展望地 / 景勝地
View point



陸上競技場
Athletic stadium



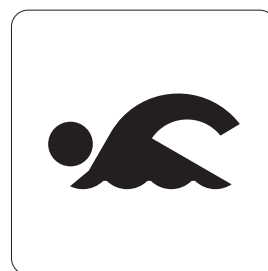
サッカー競技場
Football stadium



野球場
Baseball stadium



テニスコート
Tennis court



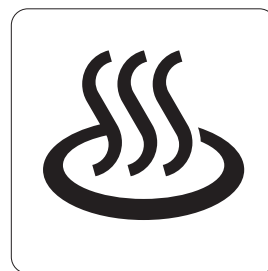
海水浴場 / プール
Swimming place



スキー場
Ski ground



キャンプ場
Camp site



温泉
Hot spring



イヤホンガイド
Audio guide

4 観光・文化・スポーツ施設 Tourism, Culture, Sport Facilities

推奨度
C



公園
Park



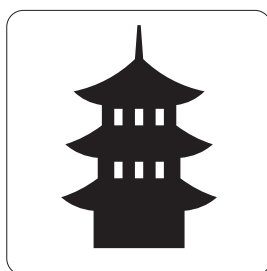
博物館 / 美術館
Museum



歴史の建造物
Historical monument

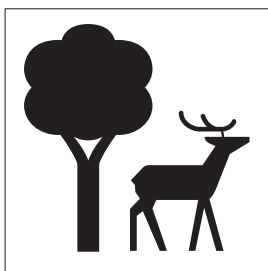


応用例 1
variant 1



応用例 2
variant 2

参考



自然保護
Nature reserve

※



スポーツ活動
Sporting activities

※



スカッシュコート
Squash court

※



Tバーリフト
T bar lift

※



腰掛け式リフト
Chairlift

※

推奨度
A



消火器
Fire extinguisher



非常電話
Emergency telephone



非常ボタン
Emergency call button



列車の非常停止ボタン
Emergency train stop button



非常口
Emergency exit
※
(備考)
消防法に基づく告知
(平成11年3月17日消防庁告示第2号)



広域避難場所
Safety evacuation area
※

推奨度
A



一般禁止
General prohibition

※



禁煙
No smoking



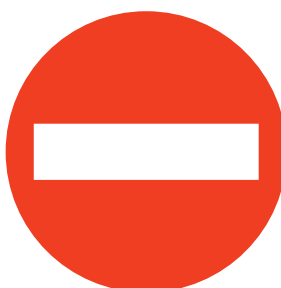
※

(備考)
火災予防条例で下記の図記号の使用が規定されている場所には、下記の図記号を使用する必要がある。



火気厳禁
No open flame

※



進入禁止
No entry



駐車禁止
No parking



自転車乗り入れ禁止
No bicycles



立入禁止
No admittance



走るな / かけ込み禁止
Do not rush



ホームドア：たてかけない
Do not lean objects on the platform door



ホームドア：乗り出さない
Do not lean over the platform door



さわるな
Do not touch

[注1] (文字による補助表示が必要)

6 禁止 Prohibition

推奨度
A



捨てるな
Do not throw rubbish



飲めない
Not drinking water



携帯電話使用禁止
Do not use mobile phones



電子機器使用禁止
Do not use electronic devices
[注1] (文字による補助表示が必要)



撮影禁止
Do not take photographs



フラッシュ撮影禁止
Do not take flash photographs

推奨度
B



ベビーカー使用禁止
Do Not Use Prams / Strollers
[注1] (文字による補助表示が必要)



遊泳禁止
No swimming



キャンプ禁止
No camping

推奨度
C



飲食禁止
Do not eat or drink here



ペット持ち込み禁止
No uncaged animals

推奨度
A



一般注意
General caution

※



障害物注意
Caution, obstacles

[注1] (文字による補助表示が必要)



上り段差注意
Caution, uneven access / up



下り段差注意
Caution, uneven access / down



滑面注意
Caution, slippery surface



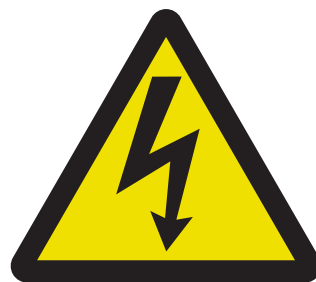
転落注意
Caution, drop
[注1] (文字による補助表示が必要)



天井に注意
Caution, overhead



ホームドア：手を挟まないよう注意
Caution, closing doors

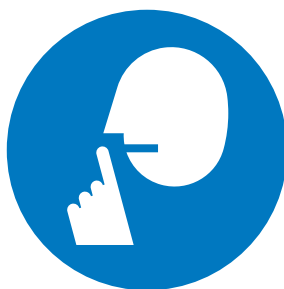


感電注意
Caution, electricity
[注1] (文字による補助表示が必要)

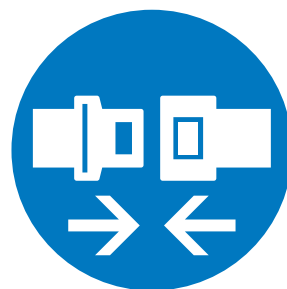
推奨度
A



一般指示 ※
General mandatory



静かに
Quiet please



シートベルトを締める
Fasten seatbelt



左側にお立ちください
Please stand on the left
[注1] (文字による補助表示が必要)



応用例 (右側にお立ちください)
variant (Please stand on the right)
[注1] (文字による補助表示が必要)

推奨度
B



二列並び
Line up in twos
[注1] (文字による補助表示が必要)



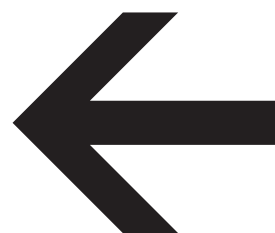
応用例 1 (一列並び)
variant 1 (Line up single file)
[注1] (文字による補助表示が必要)



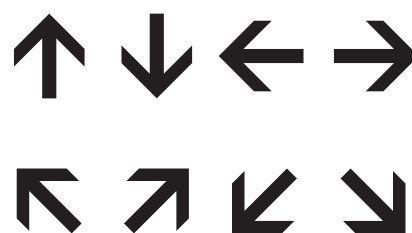
応用例 2 (三列並び)
variant 2 (Line up in threes)
[注1] (文字による補助表示が必要)



応用例 3 (四列並び)
variant 3 (Line up in fours)
[注1] (文字による補助表示が必要)



矢印 ※
Directional arrow



応用例
variants

8 指示 Mandatory

参考



安全バーを閉める
Close safety bar

※



安全バーを開ける
Open safety bar

※



徒歩客は降りる
Get off

※



スキーの先を上げる
Raise ski tips

※



スキーヤーは降りる
Skiers have to get off

※

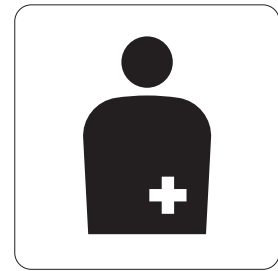
推奨度
A



障害のある人が使える設備 ※
Accessible facility



スロープ
Slope



オストメイト用設備 / オストメイト
Facilities for Ostomy / Ostomate



コミュニケーション
Communication in the specified language
(言語(ENGLISH)は、他の言語及び
国旗に差し替え可)



コミュニケーション：筆談対応
Communication : Writing

